

## 【愛媛県】東雲ESDプログラム 構成案

### 1. プログラム名

東雲ピカピカESD～私たちが育てるコミュニティファーム～

### 2. プログラムの概要（300字以内）

NPO法人えひめ311、えひめグローバルネットワーク、愛媛大学が地域の人たちとの協働で、東雲公園の未利用地を「コミュニティファーム」として活用した。東雲小学校2年生がサツマイモを育てる農業体験を通して、地域の人々とのコミュニケーション能力を育む学びの場としての創出を目指した。草引きや水やり、収穫を通じて、循環型社会に向けた自然農法や地域の人たちとのつながりの大切さ、また、草花や土の中の生き物とのふれあいを通して生物多様性の大切さに気付くようにプログラムを設計した。さらに、地域防災訓練時に育てたサツマイモを食材で活用することで地域防災力の向上に役立てた。

### 3. 対象

I. 中学校    II. 小学校高学年    III. 小学校中学年    IV. 小学校低学年

### 4. プログラムの目標（300字以内）

- ・ 東雲公園の未利用地が「公園 ESD」として、地域で根付くようプログラム化する。中学生プログラムとの比較により、時間軸の違いから ESD 化への考察（学び直し・捉え直し）を行い、ESD 評価方法の手立てとなるよう分析・解析する。
- ・ 東雲公園を「環境学習体験の場」として活用し、地域のさまざまな人々が世代を超えて気軽に触れ合える場とすることで、防災・減災社会づくりにつないでいく。
- ・ 東雲公園内に設けたコミュニティファームにおける野菜栽培を通じて、生きることの最も基本的な要素である「食」とそれを支える「農」について学び体験する。
- ・ これらの食（命）を育み・命を守る取組みを地域住民の社会参加の場とし、地域コミュニティをより密なものとしていくことを目指す。

### 5. 主なESDの視点（主として関連するものに○を記入）

持続可能な社会づくりの構成概念		ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度	
相互性	○	批判的に考える力	
多様性		未来像を予測して計画を立てる力	
有限性	○	多面的、総合的に考える力	
公平性		コミュニケーションを行う力	
責任制		他者と協力する態度	○
協調性	○	つながりを尊重する態度	○
その他（ ）		進んで参加する態度	○

6. 学習指導要領との関連（関連させられる可能性のあるものを記入）

学 年	教 科	学習内容
小学校低学年	生活科	第2節 生活の内容 (7)動物を飼ったり、植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、またそれらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。

7. プログラム（単元・題材）の展開の流れ

時	単元名	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
10月23日 (1時間)	おいしく そだて わたしの やさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を振り返り、お世話になった人の存在に気付く。</li> <li>・お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝える作戦を小グループで話し合う。</li> <li>・小グループの話し合いを発表し合い、作戦を実行するための次時の学習課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子等のスライドを見せたり、関わった人たちによる劇を鑑賞させたりすることによって、その思いや苦労について具体的に振り返らせ、感謝する気持ちが持てるようにする。</li> <li>・一人一人の考えや感謝の思いが発言しやすいように、小グループでの話し合いを取り入れる。</li> </ul>
11月1日 (2時間)	おいしく そだて わたしの やさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域やNPO、愛媛大学の人たちといっしょにさつまいもの収穫活動をする。</li> <li>・サツマイモ収穫前に、さつまいもの葉についての話を聞き、料理に活用するためにきれいな葉を摘み取る作業をする。</li> <li>・収穫したさつまいもをきれいに洗う作業をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモの収穫の説明の時に、土の中で生きる生き物を見つけることにも触れ、身近な自然にも興味を持って取り組めるようにする。</li> <li>・サツマイモだけでなく、葉にも有効な活用方法があることを知らせるとともに、外国の料理にも関心が持てるようにする。</li> </ul>
12月8日 (2時間)	おいしく そだて わたしの やさい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東雲地区連合会防災訓練にて、11月1日に収穫したさつまいで作ったお菓子を地域の方々に配布した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの作ったさつまいもを、地域の方々が調理し、そして、地域の方々に食べていただき、子どもたちの社会でのつながりや役割を実感できるように支援する。</li> </ul>
12月10日 (1時間)	にこにこ 大作戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サツマイモ作りでお世話になった人を招待して、お</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこ大作戦で話し合った小グループごとに、プレゼントを作</li> </ul>

	<p>～おいもパーティーをしよう～</p>	<p>いもパーティーをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫したサツマイモ一部をふかしいもにして、招待した人といっしょに食べたり、ゲームをしたりして楽しむ。</li> <li>・にこにこ大作戦で作ったプレゼントを渡して、感謝の気持ちを伝える。</li> </ul>	<p>ったり、ゲストの人とサツマイモの会食をして、一人一人が感謝の気持ちを伝えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストの方にも感想などをいっていただき、活動に対する達成感を味わえるように支援する。</li> </ul>
--	-----------------------	---	--

## 8. 元となったモデルプログラム（20のプログラムの中から選ぶ）

公園、探検・発見・ほっとけん！・・・誰が？

## 9. 地域化するにあたって配慮したこと、モデルプログラムから変更、追記したポイント

- ・ 東雲小学校は、番町小学校、八坂小学校、東中学校と小・中連携指定校となっており、来年度、新校舎建築が予定されていることなどから、中学校との連携を視野に入れ、6年生の授業（平和・国際交流・職業科など）とのつながりを持たせられるよう工夫した。
- ・ 収穫した野菜を炊き出し訓練に活用し、地域防災力の向上に役立てて、命を守る上での食や農の大切さについて認識を深めるよう工夫した。
- ・ 東雲町内会など地域の方々との連携を深めながら展開し、住民の理解を得られるよう努めた。

## 10. プログラムの実証の概要

- ・ 本プログラムでは、まちなかの公園（の一部）を地域住民と児童たちが共に野菜を育てるコミュニティファームとして活用し、食と農を通じて地域共生のかたちを考え実践する学びの場を創出することを目指した。
- ・ 具体的には、地域の方々と一緒にどのような農園を作るかを考え、畑作りから苗植え、草抜き、収穫までの一連の農作業を数ヶ月の時間をかけて体験するよう工夫した。
- ・ また、環境への負荷の少ない自然農法に取り組み、循環型社会のあり方について関係者がともに学びあう場を創出した。
- ・ 収穫した野菜は炊き出し訓練に活用し、地域防災力の向上に役立てると共に、命を守る上での食や農の大切さについて認識を深めるきっかけとした。

## 11. プログラム実証を通じて分かったこと

- ・ まちなかの公園を活用したコミュニティファームでの農業体験を通じて、日頃自分達が食べている野菜がどのように作られているかを学ぶことで、循環型社会に向けた自然農法の大切さに気付くと共に、環境に配慮した行動を実践する姿勢を養うことができた。
- ・ 地域住民とともに野菜栽培に取り組む中で、地域との関わり合いを深め、帰属感や連帯感を育むことができた。
- ・ コミュニティファームで育てた野菜を、防災訓練時の炊き出しの食材として活用することを通

じて、地域全体で防災力を向上させることの大切さを学ぶと共に、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付けることができた。